

## ご挨拶

### シーマンシップ

ヨット競技に携わる人にはご存知の言葉ですが、2つの意味で使われていると思います。

- 1) ヨットマンとしての技能。
- 2) ヨットマンとしての資質、心掛け、マナー

これは、ヨット競技以外の仕事、私生活に通ずる事も多いと思います。

皆さんの仕事や私生活で例えると

1. 気が付いた事は、直ちに実行する。
2. 身の回りの諸事を、整理しておく。
3. 5分前行動の精神。
4. 国際性、社会性、協調性、計画性、情報収集力、分析力がある。
5. 物事の流れを理解し、先を予測し、時と場合によっては瞬時に判断し決断出来る。
6. 何事にも真剣に取り組み、諦めず限界に挑戦する、強靱な精神力を持っている。
7. 他人への優しさ、気配り、愛情が有り、仲間を守り励ます。

ざっと、挙げただけですが上記の様な事が言えると思いますが、どうでしょう。

中央大学ヨット部で、学び、身に付けた事が、現在(いま)の自分にとって、如何に役立っている事とだと思いませんか？

中央大学ヨット部は、海洋班の前身から始まり、昭和22年(1947年)創部から今年75年になりますが、全国屈指の伝統校であり、関東の伝統校の中で唯一「海難事故0」「死者0」と、単にヨット競技が強いだけでは無いのは、諸先輩方から上記のシーマンシップを受け継がれて来たからではないでしょうか？

そして、横浜に艇庫を構え活動し昭和39(1964)年、横浜埋立工事開始でレース海面使用不能を経て、いち早くヨット発祥の葉山鑑摺の地に、自前の合宿所を構え活動して来ました。

25年後には、創部100年になります。

その時皆さんは、中央大学ヨット部OB会、現役ヨット部が、どうあって欲しいですか？

中央大学ヨット部で、学んだ事、身に付けた事、伝統という襷を、どう繋いであって欲しいと考えますか？

学生時代と違い、仕事や家庭で諸々お忙しいと思います。

その中で、皆さんの出来る範囲で、10年後、20年後更にその後の世代への事を思い、OB会に1人でも多くの方が参画して頂ける事を希望しています。

時節柄、皆様お身体をご自愛下さい。

中央大学ヨット部OBOG会  
会長 杉本 武三郎